

**第4回佐賀県西部広域環境組合
施設整備検討部会会議録**



平成21年11月16日 14:00～16:30

佐賀県西部広域環境組合

第4回佐賀県西部広域環境組合施設整備検討部会			
日 時	平成21年11月16日(月) 14:00~16:30		
場 所	武雄市役所 3階会議室		
部 会 員	区 分	氏 名	出 欠
	学識経験者	小野 隆弘	出
	学識経験者	平尾 実	出
	学識経験者	荒卷 康博	出
	学識経験者	伊藤 洋	出
	学識経験者	中山 裕文	出
	構成市町担当課	織田 清弘	出
	構成市町担当課	伊藤 芳弘	出
	構成市町担当課	亀井 初男	出
	構成市町担当課	池田 博幸	出
	構成市町担当課	百武 孝	出
	構成市町担当課	千々岩 正博	出
	構成市町担当課	西村 英樹	出
	構成市町担当課	小森 九州男	欠
	構成市町担当課	土井 秀文	出
	域内既存施設担当職員等	力武 岩夫	出
	域内既存施設担当職員等	福田 康成	出
	域内既存施設担当職員等	棚町 信也	出

佐賀県西部広域環境組合	事務局長	井関 勝志
	事業1係係長	加々良 俊文
	事業2係係長	村田 秀哲
	事業1係主査	古賀 正太
財団法人日本環境衛生センター西 日本支局	環境工学部部長	岩永 宏平
	環境工学部建設技術課課長代理	古保里 俊夫
八千代エンジニアリング株式会社	環境施設部技術第二課課長	松本 良二
	環境施設部技術第一課主幹	小林 栄己
	環境施設部技術第一課主任	清野 昭則

第4回佐賀県西部広域環境組合施設整備検討部会

平成21年11月16日(月)
午後2時00分 開会

【1】 開会

【2】 報告・協議事項

(1) 第3回施設整備検討部会及び第3回ごみ処理施設建設委員会での主な指摘事項と対応

(2) 処理システム・処理方式の二次選定

【3】 その他

【4】 閉会

【1】 開会

○事務局長より開会

○施設整備検討部会長より挨拶

【2】 報告・協議事項

(1) 第3回施設整備検討部会及び第3回ごみ処理施設建設委員会での主な指摘事項と対応

[事務局]

第3回施設整備検討部会及び第3回ごみ処理施設建設委員会での主な指摘事項と対応について、説明を行った。

[質 疑]

特になし

(2) 処理システム・処理方式の二次選定

[事務局]

処理システム・処理方式の二次選定（１．環境保全性（１）公害防止性）について、説明を行った。

〔質 疑〕

（部会員）公害防止性については、前回の検討部会での協議検討を踏まえて作成した試案で妥当と考える。

〔事務局〕

処理システム・処理方式の二次選定（１．環境保全性（２）温暖化負荷）について、説明を行った。

〔質 疑〕

（部会員）定量的な評価を行う項目全体に関してもいえるのだが、ひとつだけ極端な数値がある場合、その数値が影響し、他が同じ評価となる場合がある。例えば、極端な数値のものには、◎○△以外の記号で表し、それを除いて◎○△の評価をしたり、統計的な手法を用いて整理するのはどうか。

（事務局）統計的な手法を用いるには母数が少ないと考える。評価が、極端な数値に影響されるというところはあるが、それがシステム全体の特徴を示していることでもあると考える。

（部会員）温暖化負荷の項目だけではなく、定量的な評価を行う項目で極端な数値となる部分は、コメントを付すことで整理していただきたい。

（事務局）了解した。

（部会員）今後の国の地球温暖化防止対策やCO₂排出量削減対策に留意する必要がある旨のコメントを付していただきたい。

（事務局）了解した。

（部会員）評価は、前回の検討部会での協議検討を踏まえて作成した試案で妥当と考える。

〔事務局〕

処理システム・処理方式の二次選定（１．環境保全性（３）最終処分負荷）について、説明を行った。

〔質 疑〕

（部会員）セメント原料化システムの場合の埋立物については、焼却灰の３０％を埋め立てし、７０％をセメント原料化のために排出するという想定をされたということであったが、どのように設定されたのか。

（事務局）メーカーアンケートから得られた数字では、焼却灰の１５％程度がセメント原料化不適物であると想定されたため、種々の変動等も考慮し、２倍の３０％で設定している。

（部会員）スラグ化システムの場合の最終生成物についてはどうか。

（事務局）溶融飛灰、溶融不適物は埋め立てとし、スラグ、メタルは埋め立てせず、全量有効利用することで想定している。有効利用に関しては、構成市町の公共事業等において活用する体制の構築が必要であると考えている。

（部会員）想定としてはそれでよいと思うが、スラグ等は他自治体等では有効利用に苦慮されているところもある。また、公共事業等の時期は年度末に集中することがあることから、スラグ等のストックヤードについては十分に検討する必要があると思う。このようなこともコメントで付していただきたい。

（事務局）了解した。

（部会員）評価は、前回の検討部会での協議検討を踏まえて作成した試案で妥当と考える。

〔事務局〕

処理システム・処理方式の二次選定（１．環境保全性（４）資源・エネルギー負荷）について、説明を行った。

〔質 疑〕

（部会員）資源・エネルギー負荷については、前回の検討部会での協議検討を踏まえ

て作成した試案で妥当と考える。

〔事務局〕

処理システム・処理方式の二次選定（２．安定性・安全性（１）安定・安全稼働）（２）処理能力と適応性（３）施設規模適合性）について、説明を行った。また、安定・安全稼働における、焼却灰の受け入れ可能性について、新たに得られた情報を提供し、セメント原料化システムの評価の再検討をしていただきたい旨を説明した。

〔質 疑〕

（部会員） ２．安定性・安全性（１）安定・安全稼働については、事務局の情報提供を踏まえて、修正を加えた試案で妥当と考える。（２）処理能力と適応性（３）施設規模適合性については、前回の検討部会での協議検討を踏まえて作成した試案で妥当と考える。

〔事務局〕

処理システム・処理方式の二次選定（３．経済性）について、説明を行った。

〔質 疑〕

（部会員） 記載されている数値は、何を基に算定しているのか確認したい。

（事務局） 定量的な評価をする項目については、基本的にはメーカーアンケートで得た数値を採用している。しかし、経済性の中の施設建設費はトータルコスト全体への影響が大きいことから実勢価格から算出したデータを採用した。

（部会員） 外部燃料については、今後の市場動向等に留意する必要がある旨のコメントを付していただきたい。

（事務局） 了解した。

（部会員） トータルコストをグラフ等で図示することで、見やすくしたほうがよいのではないか。

（事務局） グラフ等を追加する。

(部会員) 評価は、前回の検討部会での協議検討を踏まえて作成した試案で妥当と考
える。

<全体を通して>

(部会員) 最終的なとりまとめ表は、それぞれの方式ごとに、◎○△の評価とコメン
トを入れた一覧表形式がわかりやすいのではないかと。

(事務局) そのように修正を行う。

(部会員) 確認だが、検討部会としては、処理システム・方式全体としての評価は行
わず、各項目の客観的な評価とそれに関する留意事項等を付したまとめと
し、それを基にごみ処理施設建設委員会で検討していただくということ
でよいか。

(事務局) 了承した。今回の指摘を受けたものを整理し、検討部会員へ送付し内容を
確認いただいた上で、次回のごみ処理施設建設委員会の資料としたい。

(部会員) 了解した。

[結 論]

- 処理システム・処理方式の二次選定について、各項目の評価について了承いただいた。ただし、一部追加指摘事項や表現方法等を修正するものとし、修正した資料を検討部会員に再度確認いただいた上で、ごみ処理施設建設委員会の資料とする。**
- 検討部会で評価した結果を基に、ごみ処理施設建設委員会で検討いただく。**

【3】その他

- 今後の施設整備検討部会の開催日時について

第5回 12月21日(月) 14:00～

第6回 1月18日(月) 14:00～

【4】閉会